

3歳児ちゅうりっぷ組 保育指導案

男児 8名 女児 5名 計 13名

1 幼児の実態

○ この時期の幼児の実態

アサガオやオシロイバナを使って色水をつくったり、混ぜてどんな色になるか試したりする姿が見られる。クスの実やオシロイバナの種、マテバシイなどの種や木の実を集めて、砂や土でつくったごちそうの飾りにして遊ぶ姿が見られる。年長児の遊びを真似て、砂や土をふるいにかけてさらさらの砂や土をつくり、感触を楽しむ姿が見られる。物の取り合い等でトラブルが多く、物の貸し借りに必要な言葉を教えたり、譲ることができた時に褒めたりと繰り返し援助を行っている。

○ 本日の遊びにつながるエピソード

日付：令和2年10月12日	対象児： E児 G児
事例：「どうしたらひっくりかえせるの？」	
事例の背景 <p>G児は砂やクスの実などの自然物を使ってごちそうづくりをして遊ぶ姿が多く見られる。9月30日、砂をカップに入れプリンをつくり「チョコレートをかけたい。」と言ったので、教師が「土でつくれるよ。」と築山から土を取り、水を混ぜてチョコレートソースをつくって、砂のプリンの上にかけた。次の日、G児がプリンを見て、指で触りながら「あっ固まっている。」と言った。</p>	
 	
<p>E児とG児が砂と水でホットケーキをつくって遊んでいた。フライパンの中に砂と水でつくった生地を入れて、「どうしたらひっくりかえせるの？」と教師に聞いた。「そうだね。砂はバラバラになりそう。土ならできるかも。」と伝えると、教師が築山から取ってきた土に水を混ぜてもう一度ホットケーキの生地をつくり、フライパンに入れた。教師が隣にいたG児に「このまま太陽さんにあてていたら、固まったよね。」と話すと、G児は「でも太陽ないわ。(この日の天気は曇りで太陽が出ていなかった。)」と言った。教師が「そっか。でもGちゃんのこの前のプリン固まっていたね。」と言うと、G児は「うん。明日ね(明日になったら固まっているね。)」と言った。E児はその話を聞いてうれしそうに、つくったホットケーキをテーブルの上に残して置いた。</p>	
<環境の構成と援助> <ul style="list-style-type: none">・ 砂や土の状態の変化に気付くよう、つくったものを残しておける場・ 幼児の気付きを他の幼児へとつなぐ言葉かけ	

<考察>

ホットケーキをひっくり返したいという E 児の気持ちに寄り添い、土を勧めた。砂にはない土の「固まる」という特性から遊びがより広がり深まる。また、以前試して本当に土が固まったことを見た G 児が、「明日ね。」と言ったことから、明日への期待がより高まったのではないかと考える。

2 期のねらいと内容 (Ⅳ期 11・12月) 抜粋

- いろいろな遊具や素材に興味や関心を持ち、自分なりに使ったり、遊んだりすることを喜ぶ。
- 身近な自然や動植物に触れて遊ぶことを喜ぶ。
- みんなで遊ぶためのきまりを知り、自分なりに守ろうとする。
 - ・ 自分の好きな遊びを見付け、それに必要な遊びや道具や材料を自分なりに選んで使ったり、遊んだりする。
 - ・ 木の葉や木の実、草花の種子等を集め、遊びに使い、親しみをもつ。
 - ・ 友達の思いに気付いたり、教師の仲立ちで友達に譲ったりしようとする。

3 週のねらいと内容


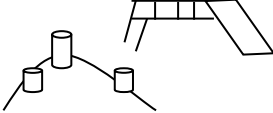
- 身近な自然 (砂・土・木の葉・木の実・種子など) や虫に触れたり遊んだりすることを喜ぶ。
- 安全に遊ぶためや友達と一緒に遊ぶための決まりを知り、自分なりに守ろうとする。
 - ・ マテバシイ、クスノキの実、オシロイバナの種などを集めたり、ごちそうなどの遊びに使ったり、虫を探したり見つけたりする。
 - ・ 物の取り合いや順番などのルールがある遊びの中で、友達の思いに気づき、教師の仲立ちで友達に譲ったりしようとする。

4 本日のねらいと内容

- 園庭にある花や葉、種子を使ってジュースやゼリー、薬をつくったりお店屋さんになって遊んだりすることを楽しむ。
- 砂や土、木の実を使って、ごちそうやきめの細かい砂や土をつくることを楽しむ。
- ドングリなどの秋の自然物を使って、アクセサリーをつくったり、ドングリ落としで遊んだりすることを楽しむ。

- ・ オシロイバナやタンポポなどの色水をつくってジュースやゼリーに見立てたり、オシロイバナの種をつぶして粉を薬に見立てたり、お店屋さんになったりする。
- ・ 砂や土でパンやチョコレートをつくったり、木の実で飾り付けをしたり、ふるいでふるってさらさらの砂や土をつくったりする。
- ・ クヌギ、マテバシイなどのドングリやクスノキの実、ホルトの実などの木の実から自分の好きな大きさや形を選んで、アクセサリーをつくったり、ドングリ落としでドングリが落ちる様子を見たり、音を聞いたりする。
- ・ 「ききましよう・おはなししましよう」の中で、楽しかったことや見つけたことを話したり、表情や動きで表したりする。

5 本日の流れ

時間	幼児の活動	 予想される幼児の姿 ○ 環境の構成
8:45～ 9:10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登園する。 ○ 所持品の整理をする。 	<div style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">南庭</div>  <p style="text-align: center;">切り株山</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 150px; height: 100px; margin: 10px auto; text-align: center; line-height: 100px;">砂場</div> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin: 10px auto; text-align: center;">机</div>
9:30～	<ul style="list-style-type: none"> ○ 好きな遊びをする。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草花・種子遊び ・ 砂・土遊び ・ 秋の自然を使った遊び </div> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">など</p>	<h3 style="text-align: center;">草花, 種子を使ったジュースや薬づくり</h3> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>オシロイバナやタンポポなどの花をつかって色水のジュースやゼリーをつくっているだろう。オシロイバナの種をつぶして粉を出し、薬をつくっているだろう。お店屋さんになってつくったものを売っているだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ オシロイバナの花, 種, タンポポの花, すり鉢 すりこぎ, 小さいペットボトル, チャック付ビニール など ☆ 色水のつくり方や粉の出し方を教えたり, きれいな色がでている友達に気付くように言葉掛けをしたり, できた色水を見て, 共感したり, 認めたりする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content;"> <p>「○さんの色水きれいだね。どうやってつくったの？」 「きれいな色ができたね。素敵だね。」 「お薬ひとつください。」</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">さくら保育室</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ちゅうりっぷ保育室</div> </div>

花壇

アジサイ園

築山

砂・土を使ったごちそうづくり さらさらづくり

砂や土に水を混ぜて、パンやチョコレートをつくったり、できたごちそうに木の実をのせて飾ったりしているだろう。乾いた砂や土をふるいにかけてさらさらの感触を楽しんでいるだろう。

- 砂, 土, ボウル, お玉, 泡立て器, ヘラ, カップ, 木の実, ふるいなど
- ☆ 教師も遊びの仲間として参加し、一緒にごちそうづくりをしたり、さらさらの感触を楽しんだり、つくったものを見て共感したり、認めたりする。

「おいしそうなチョコレートができたね。」
「さらさらとっても気持ちいいね。」

秋の自然を使った遊び

クヌギやマテバシイ, クスノキの実やホルトの実などの木の実を使って, アクセサリーをつくったり, ドングリ落としで遊んだりしているだろう。

- クヌギ, マテバシイ, クスノキの実, ホルトの実, ペットボトルキャップ, モール, ペットボトル, ストロー, 巧技台, モールなど
- ☆ 幼児のつくりたいイメージを聞きながら, 見守ったり, 必要に応じて一緒につくったり, 提案したりする。

「どんなアクセサリーにしようか？」
「ドングリが落ちるとき面白い音がするね。」

ぽぷら組保育室

絵本の
部屋

アトリエ

遊戯室

多目的室

職員室

時間	幼児の活動	○ 環境の構成 ☆ 教師の援助のポイント
10:20	○ 片付ける。	☆ 積極的に片付けている幼児を褒めたり、片付けが進んでいない幼児には、片付けている幼児に気付くように言葉をかけたりする。
10:50	○ 排泄, 手洗い, うがい, 水分補給をする。 ○ 集まりをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ○ 手遊びをする。 ○ 歌をうたう。 ○ 名前呼びをする。 </div> ○ ふりかえりをする。 「ききましよう・おはなしましよう」	☆ 季節や自然に関わる, 歌や遊びをする。 ☆ 楽しかったことや見つけたことを自由に話す。話の内容を繰り返したり, 質問したり, 付け加えたりして, 話が他の幼児にも伝わるように援助する。友達の話聞くように促す。
	○ 話がしたくなるように, 幼児がしていたことや幼児の気持ちを認める。 「○○したよね。」 ○ 説明を加えたり, 一緒に遊んだ幼児からも話を引き出したり, 実物を用意したりして, みんなに伝わるような援助する。 「○○が楽しかったんだね。△△さんもしていたね。」	
11:30	○ 絵本を読み聞かせを聞く。 「どろだんご」 ○ 降園の準備をする。 ○ 降園する。	☆ 幼児の遊びと関連するものや, 自然を感じるような絵本を読む。

8 評価の観点

- ・ オシロイバナやタンポポなどの色水をつかってジュースやゼリーに見立てたり, オシロイバナの種をつぶして粉を薬に見立てたり, お店屋さんになったりしていたか。
- ・ 砂や土でパンやチョコレートをつくったり, 木の実で飾り付けをしたり, ふるいでふるってさらさらの砂や土をつくったりしていたか。
- ・ クヌギ, マテバシイなどのドングリやクスノキの実, ホルトの実などの木の実から自分の好きな大きさや形を選んでアクセサリーをつくったり, ドングリ落としでドングリが落ちる様子を見たり, 音を聞いたりしていたか。
- ・ 「ききましよう・おはなしましよう」の中で, 楽しかったことや見つけたことを話したり, 表情や動きで表したりしていたか。